

【担当課による評価】
 以下の4段階で評価しています
 A:非常に効果があった
 B:相当程度効果があった
 C:効果があった
 D:効果がなかった

令和4年度 地方創生推進交付金等に係る実施事業一覧

①地方創生推進交付金「福知山市・丹波市・朝来市 3市圏域の競争力強化による「稼ぐ地域」創造事業」(R4～R6) 【事業概要】 持続可能な地域を創っていくため、「経営力強化・起業促進・担い手確保」、「ICTの活用や人材の育成によるデジタル実装」、「地域ブランディング」、「地域の大学の知見を活用したコンソーシアムの立ち上げ」等により競争力を強化し、圏域への一体的な人・モノ・金の流れを作り出し「稼ぐ地域」をめざした事業			令和4年度 KPI(重要業績評価指標)							
			指標名	実施前値		目標値		実績値		
起業支援制度を利用して起業した事業者数及び事業承継した事業者数			52	件/年	59	件/年	102	件/年		
圏域内事業所への新卒就業者数			322	人/年	325	人/年	305	人/年		
圏域内主要観光施設の観光消費額			2,728,411	円/年	2,916,700	円/年	2,986,927	円/年		
産学官連携による地域課題解決策の社会実装件数			0	件/年	1	件/年	2	件/年		
No.	事業名	事業内容等	事業成果	担当課	補助対象事業費(円)	補助金交付額(円)	担当課による評価	有識者会議委員による評価等		
								主な意見		地方創生の効果
								あり	なし	
1	福知山市産業支援事業(ドッコイセ! Biz)	相談業務を中心とした支援を行う福知山産業支援センター「ドッコイセ! biz」においてあらゆる業種の事業所の相談に対応する事業	年間を通じて930件の相談に対応し、事業者の売上アップや販路開拓につながった事業者は127者であった。	産業政策部 産業観光課	3,542,000	1,771,000	B:相当程度効果があった	・リポート相談者の満足度が高い点は評価できるが、引き続き新規相談者の拡大も促進してほしい。	4	0
2	起業おうえん事業	市内で新たに事業を営む者に対し助成・補助制度を実施し、創業時の経費負担を軽減するとともに、創業時のノウハウ取得のためのセミナー等を開催する事業	創業セミナー、利子補給、補助金等の様々な角度からの創業支援を実施できており、補助制度については、創業時の経費面での負担軽減に有効である。創業セミナー参加者アンケートにおいても高い満足度を得られた。	産業政策部 産業観光課	4,791,957	2,395,978	B:相当程度効果があった	・女性の創業が多いため、女性の起業者と起業を考えている方の交流イベント・サロンを開催するのも良いのではないかと。 ・セミナー参加者・創業者実績の増加は素晴らしい。起業にはお金以外にも法的知識・ICTの利用・マーケティングなど様々な知識を必要とするため、福知山産業支援事業や商工会議所等との連携も必要。	5	0
3	食を通じた観光促進事業	ANA等を活用し、「稼ぐ力のある福知山商品ブランドの創生」を行い食に関する観光ブランドの展開やイベント等を開催し、交流人口の拡大を図る事業	商品の磨き上げに参加した13事業者のうち、羽田空港に出店したのは9事業者で商品販売額は約80万円。また、2日間開催した食のイベントは来場者数約1万人、延べ出店数75店舗、店舗総売上額約820万円(推定)、モニターバスツアー40名であった。	産業政策部 産業観光課	8,350,000	4,175,000	C:効果があった	・事業者にとって良い取組みであり継続してほしい。将来的には海外展開に繋がればさらに良い。 ・福知山の生産品を市外へ販売する良い機会となった。 ・商品を売るだけではなく、顧客のニーズを汲み取る仕組みが重要。	5	0
4	福知山市ブランディング事業(福知山PR戦略総合推進事業、竜王戦福知山城対局事業)	地域ブランドを高めて福知山ファンを増やし、関係人口・交流人口の拡大とシビックプライドの醸成を図ることを目的に、3本柱のテーマで、シティプロモーションを行う事業(①地元ゆかりの武将・明智光秀や福知山城 ②新たな地域ブランド育成③市役所・市全体のPR力強化)	記事掲載は合計で約2,200件、広告換算額は約19億円を記録。鬼の動画2種の総再生数が約96万回。日本の鬼の交流博物館の来館者数が、コロナ前5か年平均と比較して127%増加した。	市長公室 秘書広報課	48,569,139	24,284,569	A:非常に効果があった	・福知山市として良いPRとなっている。 ・アニメ・漫画というようにキャッチーな広告を検討してはどうか。 ・メディア掲載件数も多く、効果は高い。 ・本事業は福知山市の基幹事業。一層の強化が必要。	5	0
5	稼げる農業おうえん事業	農林産物や加工品を「ふくちやまのエエもん」として認定することで、本市産品の新たな魅力を発見し、また、専門的な知見を活用することで地域内外への発信や販路開拓のアドバイスを行い、収益力のある特産物の育成と生産者の収益、経営力向上を図る事業	令和4年度は新たに4品がエエもん認定品に追加された。関東圏の商談会に参加されたエエもん認定者の中には実際に販路拡大された方もあった。	産業政策部 農林業振興課	3,872,901	1,960,450	B:相当程度効果があった	・海外展開のできる商品力を期待したい。 ・福知山公立大学の生徒を巻き込み市民感覚の商品を作成してはどうか。	5	0
6	産学官連携コンソーシアム事業(「知の拠点」推進事業)	福知山公立大学が北近畿地域における「知の拠点」の役割を果たすため、地域連携・地域協働を推進するための取組を行う事業	北近畿コラボスペースを設置し、地域の人材育成、産業振興、まちづくりを進める基盤を整備した。	市長公室 大学政策課	11,500,000	5,750,000	B:相当程度効果があった	・公立大学と地域がうまく連携できている。 ・産学官連携コンソーシアム設置は素晴らしい取組みであり、今後企業等との共同研究による成果が目される。	5	0

令和4年度 地方創生推進交付金等に係る実施事業一覧

②地方創生推進交付金「海の京都連携都市圏」形成推進事業(R3~R7) 【事業概要】 京都府北部で一つの経済・生活圏を形成し、中核市にも匹敵する産業・商業規模、観光拠点や交通機能等の都市機能を備える都市圏の実現に向けた取組を行う事業			令和4年度 KPI(重要業績評価指標)						実績値	
			指標名	実施前値	目標値	実績値				
			圏域への移住世帯数	71	世帯/年	91	世帯/年	170	世帯/年	
			ワーケーション施設・テレワーク施設・サテライトオフィスの施設利用者数	3,501	人/年	3,983	人/年	12,611	人/年	
			製造品出荷額	66,783,790	万円/年	67,453,298	万円/年	未発表	万円/年	
No.	事業名	事業内容等	事業成果	担当課	補助対象事業費(円)	補助金交付額(円)	担当課による評価	有識者会議委員による評価等		
								主な意見		地方創生の効果あり
7	海の京都DMO事業	京都府北部地域が全国有数の競争力ある観光圏となることを目的に地域活性化と観光振興に資する事業を実施することを目的とした事業	京都府北部地域全体で観光による地域づくり、地域活性化のための施策を展開できた。	産業政策部 産業観光課	7,964,000	3,982,000	C:効果があった	・観光客に京都府北部地域の回遊を促す目玉となるコンテンツを福知山市としていかに提供していくか、ウイズコロナで注目されたマイクロツーリズムを取り込めないか確認してみようか。	5	0
8	ふるさと就職おうえん事業(合同企業説明会・インターンシップ説明会事業)	若者の地元企業への理解と関心を高め、地元への定着と地元企業の人材確保につなげるとともに、福知山地域の事業所と求職者との出会いの場を創出し、持続可能な地域雇用の実現を図ることを目的とした事業	合同就職説明会等には延べ386社、543人が参加した。うち30人の就職内定につながった。舞鶴市・綾部市と合同で開催した高校生企業研究会には高校生81人、保護者14人、教員16人が参加し、市内の若者へ魅力ある地元企業を知るきっかけを提供できた。	産業政策部 産業観光課	920,347	460,173	B:相当程度効果があった	・地方移住の流れを更に加速することに期待。安定した雇用の確保は必須。 ・当初目標には達していないが、就職内定者数・就職面接企業数も増加に転じている。リアルとバーチャル両面からのマッチングを促進してほしい。	5	0
9	移住・定住促進事業(地域ブランディング業務、わかもの未来会議)	地域Webサイト「たんたんターン」改修や高校生“みらい”会議(ふるさとへの関心や愛着を醸成し、将来的なUターンにつなげるためのワークショップ)等を行う事業	(1)民間主導で3つのプロジェクトを実施。(①まちの人事②遊びでつなぐ地域での交流③お試し住宅) (2)情報集約型サイトへのデザイン変更などにより移住者目線のサイトにリニューアル。 (3)圏域内の公立私立合わせて9校20名の高校生が参加して市町を超えて交流。 (4)事業の進捗確認や次年度に向けての協議を実施。	地域振興部 まちづくり推進課	1,110,455	555,227	B:相当程度効果があった	・地方移住の流れを更に加速することに期待。安定した雇用の確保は必須。 ・Uターンとともに、特に若い子育て世代の女性に住みたい、と思う仕組みをさらに促進してほしい。	5	0
10	広域連携推進事業	京都府北部地域5市2町で構成する、京都府北部地域連携都市圏形成推進協議会における連携で協議会の連携ビジョンやアクションプランに基づき地方創生交付金を活用しながら自治体職員を対象としたDXワークカレッジ等を行う事業	・自治体システム標準化に係る合同勉強会、Decidim研修会等の実施。 ・自治体DXワークカレッジ、北近畿自治体合同キャリアガイダンス等の実施。	市長公室 経営戦略課	810,761	405,381	B:相当程度効果があった	・圏域内住民のウェルビーイング向上のために、住民視点に立った行政サービスの公公連携を思い切って促進してほしい。例えば、公共施設の共同利用等	5	0
11	農業生産組織等指導強化事業(農商ビジネスマッチング事業・オンライン商談会)	農産物を生産する生産者で組織する団体や地域での農産物生産の中核となる中心的担い手へ支援する組織等への育成強化を通じて、生産農家の生産力強化及び販売力の向上を図る事業	令和5年2月下旬から3月上旬の7日間、オンライン商談会が開催され、参加事業者13社が参加。総視聴回数は3月末現在で2,111回であり、総インプレッション数は6万8千回を超えた。	産業政策部 農林業振興課	210,272	105,136	C:効果があった	・オンライン商談会の促進は大変興味深い。但し、ビジネスはお互いの信頼関係を前提とするため、リアルでの面談や専門家の仲介などの媒介も必要ではないか。	5	0
12	公共交通維持改善事業	地域の実情と市民ニーズに対応した交通体系の再編を進め、持続可能な地域公共交通を構築することを目的とした事業	自家用車に過度に頼らないまちづくりや広域観光と連携する公共交通の実現にむけ、公共交通事業者の人材不足の解消等に、参画市町が連携して取り組んだ。	建設交通部 都市・交通課	21,916	10,958	C:効果があった	・公共交通機関が無いと生活に困る方がいるため、重要な取組ではあるが、運行維持費を抑える工夫が必要になってくると思う。 ・福知山市は面積も広く、自家用車を利用しづらい住民も増加し、住民の移動ニーズも激変。ラストワンマイルとの接続も含めて、住民を巻き込んだ公共交通のあり方を十分に検討すべき。	5	0
13	避難のあり方検討会推進事業	福知山市の「福知山市避難のあり方検討会」の最終とりまとめを踏まえ、市民の安全で確実な避難行動に結びつくよう、検討会で定められた取組を推進することを目的とした事業	災害時の応援協定をスムーズな運営とするために、標準運用手順書の作成を実施。また、これら応援を実施するにあたり、その調整の方法など訓練を実施するとともに、環境部会と合同で講師を招いた職員向け研修にも取り組んでいる。	危機管理室	56,332	28,166	C:効果があった	・災害はいつ発生するか分からないため、あらゆることを想定し、日頃から備えておくことは重要。 ・自然災害は毎年、激しくかつ広域化している。他方、AIやドローンなどを使った災害対応策(事前・事後)も進化しており、住民の安心・安全を最優先に、ソフト・ハードの両面から継続的に各自治体間で知恵出しをお願いしたい。	5	0
14	「知の拠点」推進事業	地域連携・地域協働を推進するための取組を支援することで、北近畿地域の人材育成、産業振興、まちづくりに貢献することを目的とした事業	大学における数理・データサイエンスセンターや国際センター、地域防災研究センターの取組を通して、地域のDX人材の育成や、雨量水位計の設置活用等の地域貢献を行った。	市長公室 大学政策課	40,287,681	20,143,840	B:相当程度効果があった	・地元大学と地域連携の相乗効果が出ている。 ・地域のDX人材育成は喫緊の課題である。ただ、育成後も地域に住み続け後進を育成できるように、長期の視点で取り組んでほしい。	5	0

令和4年度 地方創生推進交付金等に係る実施事業一覧

15	スマートシティ推進事業 (有害鳥獣捕獲)	ICT機器を活用した地域主体の積極的な有害鳥獣対策を推進するとともに、モデル地区で得られたデータやノウハウを有効活用し、「地域主体の獣害対策」を推進させるため出前講座を実施する事業	遠隔監視・遠隔捕獲が可能なICT囲いわなや遠隔監視可能な通信機能付き赤外線センサーカメラなどを用いて、獣の動きなどを可視化することにより、これまでは狩猟免許保持者のみが従事していた捕獲活動を、地域全体で取り組むことができ、地域の獣害対策に対するモチベーションの向上や農作物被害軽減に繋がった。	産業政策部 農林業振興課	13,617,340	6,808,670	B:相当程度効果があった	・獣害対策をICTで解決できるまでもっていく。 ・有害鳥獣対応のICT機器のランニングコストの国の補助金が無いとのこと。クラウドファンディングや隣接する自治体での共同購入などできないか。	5	0
16	シニアワークカレッジ事業	企業や事業所におけるデジタルトランスフォーメーションとシニア世代等の更なる活用を促すために、「シニアワークカレッジ」を開設する事業	講座受講者がビジネス等で役立つ最新の情報技術を学び、今後のキャリアに活かすことで地域産業の活性化につながっている。	市長公室 大学政策課	2,780,000	1,390,000	B:相当程度効果があった	・シニア向けにDXに関するコース以外(法律、金融、会計等)も設定してはどうか。DXに特化せずとも需要はあるのではないか。 ITリテラシーが高い人だけでなく、その他の層へのアプローチも必要ではないか。 ・リカレント教育の場を提供できている。	5	0

令和4年度 地方創生推進交付金等に係る実施事業一覧

令和4年度 KPI(重要業績評価指標)										
		指標名		実施前値		目標値		実績値		
③地方創生推進交付金「子育て、子育てにやさしい」京都創生プロジェクト事業(R3～R7) 【事業概要】 若者・子育て世代がそれぞれのニーズに応じた居住地を京都府内で選択できる環境を創出し府外への転出を抑制するとともに、移住を希望する人が自身の生活環境のニーズが叶えられる地域を選択できる状態を整えることで府外からの移住促進を図ることを目的とした事業										
		モデル地域市町村における人口の社会減解消		△926	人/年	△626	人/年	△117	人/年	
		市町村による重点取組エリアの設定		4	箇所/年	14	箇所/年	19	箇所/年	
		エリア内での起業数、雇用(関係人口の創出)		0	件/年	145	件/年	未発表	件/年	
No.	事業名	事業内容等	事業成果	担当課	補助対象事業費(円)	補助金交付額(円)	担当課による評価	有識者会議委員による評価等		
								主な意見		地方創生の効果
17	NEXTふくちやま産業創造事業	地域の「起業に挑戦する風土」を構築するため、機運醸成イベント「NEXT産業創造塾」を開催し先進事例に触れる機会を創出する事業や、起業や企業内起業等をめざす人を対象に起業に必要とされる高度な知識やスキルを修得できるよう、起業家等人材育成プログラム「NEXT産業創造プログラム」により社会人の学び直しを推進する事業	令和4年度NEXT産業創造プログラムでは、募集定員15人程度のところ、23人が受講し、最終ステップまで進まれた修了者21人が6つの新規事業を創出。クラウドファンディングを活用しテストマーケティングを実施した3件で、218人から総額170万円の資金調達を達成。	産業政策部 産業観光課	10,758,722	5,379,360	A:非常に効果があった	・地域で産業創造可能な学べる場所となっている。 ・新たな事業、とりわけ社会課題の克服に寄与する事業を起業する人材を産官学で支援する取組みは極めて重要。 ・社会価値の変化に即応する新たな価値創造の根幹に期待。	5	0
令和4年度 KPI(重要業績評価指標)										
		指標名		実施前値		目標値		実績値		
④地方創生推進交付金「あなたとともに「心やすらぐ地域の暮らしを」～みんなが主役の地域振興事業」(R3～R7) 【事業概要】 全国に先駆けてDMOを地域づくり支援法人へと進化させ、観光地域づくりの今までの成果を活かして、観光を入口とした産業振興、雇用創出なども含めた地域振興に繋げるため、以下の4本の柱(人口減少時代においても活力あふれる地域コミュニティづくり、若者等の地元回帰に向けた、地域の魅力ある仕事づくり、暮らしやすさ向上による移住定住の促進、外部から稼ぐ地域内経済循環の実現)を軸に事業を展開する事業										
		地域への移住者、地域活動にかかわった地域外の人の延べ人数		704	人	814	人	1,119	人	
		地域での新規就職者数		1,053	人	1,253	人	874	人	
		本業務により空き家等を活用して交流を行う拠点数		0.00	箇所/年	3	箇所/年	4	箇所/年	
		地域の一人当たりの所得向上額		3.60	千円	113.60	千円	128	千円	
No.	事業名	事業内容等	事業成果	担当課	補助対象事業費(円)	補助金交付額(円)	担当課による評価	有識者会議委員による評価等		
								主な意見		地方創生の効果
18	森の京都DMO事業	京都府中部地域において、「森の京都」エリアの認知度向上と地域住民自らが地域を誇りに思い、地域外の人々に魅力を発信し、交流人口や関係人口の拡大によって、持続可能な観光地域づくりをめざすことを目的とした事業	京都府中部地域全体で観光による地域づくり、地域活性化のための施策を展開	産業政策部 産業観光課	6,458,000	3,229,000	C:効果があった	・海より森の方が福知山の活性化に繋がる。	5	0
19	ふくちやまサードプレイスツーリズム事業	福知山の多様な地域資源を体験型観光コンテンツとして磨き上げ、現地ツアーの実施、アクティビティを動画で可視化し、これらを販売するポータルサイトポータルサイト「KITAIRO」を構築することで、地域経済を交流人口拡大により活性化させ持続可能な観光振興をめざす事業	成果連動型補助金を活用した体験型観光販売実績は、体験者74名、販売額503千円となり、補助金の交付対象販売額には至らなかったが、観光動向調査においては、目標とする500サンプルに対して1,196サンプルを回収した。	産業政策部 産業観光課	1,704,000	852,000	C:効果があった	・福知山市を訪問された方のほか、ANA FESTA等の場で福知山市を訪問されたことのない方に、何故訪問しないのかアンケートをしてみるのはいかがでしょうか。 ・福知山にいない人へアプローチをかける必要がある。 ・バーチャルな体験型観光のターゲット層を絞るとともに、リアルな観光に誘い込む仕組みを検討すべき。	5	0
20	移住・定住促進事業	オンラインと現地での支援を臨機応変に組み合わせて、多様化する移住希望者のニーズに合った支援を行い、関係人口や将来的な移住・定住者の増加と担い手による地域振興を図るため、移住希望者・移住者に関する支援及び情報発信を行う事業	移住希望者に向けてSNS等を活用してウェブでの情報発信を強化した結果、空き家情報バンク制度を通じての移住者数・新規移住希望者数ともに過去最多を更新した。移住者数:25世帯52人 新規移住希望者数:271世帯525人	地域振興部 まちづくり推進課	1,056,000	528,000	B:相当程度効果があった	・福知山の移住者の増加に繋がっている。 ・住みたいまちづくりの仕組みの強化が必要。 ・移住を希望される方は、収入を確保するため「就労」が必要となる。ハローワークと連携した取組をお願いしたい。	5	0
21	みんなのまちづくり推進事業	若者がまちの未来について語り合い、地域に係る具体的な活動をする場を提供することを目的とし、高校生と大学生が自ら地域に係る事業を企画・実践していくことで学生が主体となってまちづくりの取組を進める事業	・「未来ラボ事業」において、4組が活動プロジェクトを実施した。 ・「わかもの会議」を実施し、地域の実業家などの講演を通じて、若者と地域が繋がるまちづくりについて学ぶ場を提供し、地域活性化への意識醸成に繋がった。	地域振興部 まちづくり推進課	341,822	170,911	B:相当程度効果があった	・地元の高校生と大学生の交流の機会が増えた。 ・学生が主体となって、地域活性化を主導していく取組み素晴らしい。	5	0

令和4年度 地方創生推進交付金等に係る実施事業一覧

⑤地方創生推進交付金「移住促進により地域を元気にするプロジェクト「移住するなら京都」」(R4～R6) 【事業概要】 地域の活性化及び地域コミュニティの維持を目的として、移住者を地域に積極的に受け入れ、移住者や関係人口が活躍しやすい地区を府内に百数十地区(小学校区程度の単位を想定)設けること、「子育てにやさしいまちづくり」「DMOを核とした地域づくり」取組を実施する事業			令和4年度 KPI(重要業績評価指標)							
			指標名		実施前値		目標値		実績値	
			京都府条例に基づく「移住促進特別区域」へ移住した人数		0	人/年	200	人/年	333	人/年
			京都府条例に基づく「移住促進特別区域」のうち、「移住者受入・活躍応援計画」を策定し地域の特性に応じた移住者や関係人口と協働で地域作りに取り組む地域数		0	地域	2	地域	3	地域
当該年度の移住者の定住率		91.40	%	91.40	%	未発表	%			
No.	事業名	事業内容等	事業成果	担当課	補助対象事業費(円)	補助金交付額(円)	担当課による評価	有識者会議委員による評価等		
								主な意見		地方創生の効果
								あり	なし	
22	公共交通維持改善事業	地域の実情と市民ニーズに対応した交通体系の再編を進め、持続可能な地域公共交通を構築することを目的とした事業	地域公共交通の利便増進を図るための具体的な事業について、対象区域や実施年度、実施の方針や実施方法について定めた。	建設交通部 都市・交通課	5,500,000	2,750,000	A:非常に効果があった	・交通インフラの充実が地域活性化につながる。 ・住民の移動ニーズも激変。ラストワンマイルとの接続も含めて、住民を巻き込んだ公共交通のあり方を十分に検討すべき。	5	0
23	有償運送事業	自家用有償旅客運送の適正な運行を審査し、事業実施団体の運営を支援することにより、タクシー等の公共交通機関が不在である地域又は介助が必要等の理由により十分な輸送サービスが確保されない市民の生活移動手段の確保を図る事業	交通空白地において、主に自家用車での移動が困難な地域住民の生活交通手段として、運行回数延べ2,609回、輸送人員延べ3,030人の移送を行った。	建設交通部 都市・交通課	4,370,000	2,185,000	A:非常に効果があった	・交通インフラの充実が地域活性化につながる。 ・地域住民が主体的に実施しているオンデマンド型の取組で、行政が側面から支援することが望ましい。	5	0
⑥地方創生推進交付金「京都文化を背景として世界市場で存在感を放つ、京都の伝統産業の「生活文化提案型産業」への変革促進事業」(R4～R6) 【事業概要】 京都の伝統産業を、現代の生活様式に溶け込んだ「生活文化提案型産業」へと変革させ、業界全体の再生、再構築を図り、ひいては持続可能な後継者育成の仕組みを作り上げることをめざす事業			令和4年度 KPI(重要業績評価指標)							
			指標名		実施前値		目標値		実績値	
			本事業において支援した伝統産業分野における販売額の増加		0	億円	1.10	億円	1.00	億円
			本事業を通じた伝統工芸品の商談成立数		0	件	105	件	164	件
本事業における各種施策を活用して新たな市場に参入する事業者数		0.00	事業者	110.00	事業者	120	事業者			
No.	事業名	事業内容等	事業成果	担当課	補助対象事業費(円)	補助金交付額(円)	担当課による評価	有識者会議委員による評価等		
								主な意見		地方創生の効果
								あり	なし	

24	やくの木と漆の館事業	夜久野の歴史を残し、伝えていくことを目的に設置された「やくの木と漆の館」を、丹波漆の伝統継承と漆産業の振興を目的に設立された「NPO法人丹波漆」の活動と連携を図りながら管理運営する事業	文化庁が国宝や重要文化財の修復に係る上漆を外国産漆から国産漆に切り替える方針を示すなか、京都府も夜久野地域の漆の再生に向けて支援を強化しており、府・市・NPO法人丹波漆との連携が強化された。	地域振興部 夜久野支所	2,704,000	1,352,000	C:効果があった	・丹波漆を使った作品の更なるPR・販売を強化すべき。また道の駅としての魅力を再度掘り起こす必要あり。 ・リアル体験のみならずVRやEコマース等も利用して、丹波漆の魅力を発信し続けてほしい。 ・貴重な産業として世に誇るべきこの伝統を支えてほしい。	5	0
----	------------	--	---	----------------	-----------	-----------	----------	--	---	---

令和4年度 地方創生推進交付金等に係る実施事業一覧

			令和4年度 KPI(重要業績評価指標)								
			指標名		実施前値		目標値		実績値		
㉑地方創生拠点整備交付金「新鉄道館の整備による持続的な歴史・文化の継承と誘客の拠点化計画」(R4～R8) 【事業概要】 福知山城公園を本市の歴史・文化を継承・発信するエリアとしてブランディングし、更なる人の流れを創出し、観光誘客・観光消費増加をめざすため、新鉄道館の整備を行う事業			年間入館料等収益	0	百万円	0	百万円	開館前のため実績なし	百万円		
			子ども入館者数	0	人	0	人		人		
			年間観光消費額	154	千万円	166.67	千万円		千万円		
No.	事業名	事業内容等	事業成果	担当課	補助対象事業費(円)	補助金交付額(円)	担当課による評価	有識者会議委員による評価等			
25	新鉄道館の整備による持続的な歴史・文化の継承と誘客の拠点化計画	本市の近代化を支えた明治期以降の鉄道を中心とするまちの歴史を紹介することでシビックプライドの醸成を図り、観光誘客・観光消費増加を目指すため、新鉄道館の整備を行う事業	(仮称)福知山鉄道館ポッポランドの本体の建設を完了し、「鉄道のまち」福知山のアイデンティティの継承と新たな観光誘客のシンボルとなった。	産業政策部 産業観光課	288,178,000	144,089,000	C:効果があった	主な意見 ・今後の運営及び集客に期待。魅力・特色をいかに出せるか。 ・鉄道の歴史を知ること重要であるが、観光客が実際に体験できる仕組みもあると面白い。運営は現在直営であるが、市民もできるだけ運営に参加できるように。 ・観光誘客のシンボルとしてまちなか回遊路の支柱になることを期待。		5	0
㉒地方創生拠点整備交付金「北近畿デジタル田園都市拠点施設整備計画」(R4～R8) 【事業概要】 福知山公立大学2号館の改修及び、新棟を建設することで、大学の知見を活用し、地元企業、デジタル関連企業等が共同研究するためのイノベーション創出拠点を整備する事業			令和4年度 KPI(重要業績評価指標)								
			指標名		実施前値		目標値		実績値		
			共同研究等のプロジェクトのうち社会実装を実現した件数	0	件/年	0	件/年	2	件/年		
数理・データサイエンス・AI教育を通じた課題解決型AI人材育成数	0	人/年	0	人/年	103	人/年					
福知山公立大学、京都工芸繊維大学、舞鶴工業高等専門学校、自治体、地域の企業等との共同研究プロジェクト	0	件/年	0.0	件/年	7	件/年					
No.	事業名	事業内容等	事業成果	担当課	補助対象事業費(円)	補助金交付額(円)	担当課による評価	有識者会議委員による評価等			
26	北近畿デジタル田園都市拠点施設整備計画(知の拠点推進事業)	福知山公立大学2号館の改修及び、新棟を建設することで、大学の知見を活用し、地元企業、デジタル関連企業等が共同研究するためのイノベーション創出拠点を整備する事業	公立大学法人福知山公立大学第2期中期目標に掲げた令和6年度の大学院開設に向けて、新棟建設工事、2号館耐震補強工事、1号館改修工事等を実施。	市長公室 大学政策課	289,326,532	144,663,266	B:相当程度効果があった	主な意見 ・知の拠点になっている。今後に期待する。 ・大学院開設に向けた重要な事業である。		5	0
㉓地方創生道整備推進交付金「北近畿の拠点“福知山”ネットワークを強化する道作り計画～広域連携の強化小さな拠点を結ぶ地域連携の強化～」(H28～R4) 【事業概要】 市内の道路網を整備し、交通の利便性、地域間交流の促進、交流ネットワークの強化を図る事業			令和4年度 KPI(重要業績評価指標)								
			指標名		実施前値		目標値		実績値		
			観光入込客数	792,139	人/年	1,000,000	人/年	816,589	人/年		
森林整備施業面積	373	ha/年	587.0	ha/年	集計中	ha/年					
No.	事業名	事業内容等	事業成果	担当課	補助対象事業費(円)	補助金交付額(円)	担当課による評価	有識者会議委員による評価等			
27	地域間交流促進ネットワーク事業(市道)	地方創生道整備推進交付金を活用した事業 市内の道路網を整備し、交通の利便性、地域間交流の促進、交流ネットワークの強化を図る事業	地域間を結ぶ幹線的な道路など優先度の高い路線を整備し、地域間の連携強化を行いネットワークの強化、災害時における避難経路の確保を行い安心・安全な道路環境が整えられた。	建設交通部 道路河川課	34,818,000	17,409,000	C:効果があった	主な意見 ・住民および観光客への利便性向上の視点から、将来の回遊行動(予測)分析をしっかりと行う必要がある。		5	0
28	地域間交流促進ネットワーク事業(林道)		登山客も多く利用する林道大江山線の法面保護を行い、観光道路としての利用の促進に寄与した。	産業政策部 農林業振興課	20,652,500	10,300,000	B:相当程度効果があった	主な意見 ・全国で自然災害が多発する時代となり、災害時のレジリエンス強化を優先順位にをもって実施することは、市民の安全・安心の観点から重要。		5	0

令和4年度 地方創生推進交付金等に係る実施事業一覧

⑩企業版ふるさと納税(応援税制)「福知山市まち・ひと・しごと創生推進計画」 【事業概要】 福知山市にしごとをつくり、安心して働けるようにする、福知山市への新しいひとの流れをつくる、結婚・出産・子育ての希望をかなえる、時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携するを基本目標とし、福知山市の持つ特性・魅力を生かした独自性のある戦略・施策を推進・展開する事業			令和4年度 KPI(重要業績評価指標)							
			指標名	実施前値	目標値	実績値				
長田野工業団地アネックス京都三和稼働区画数60%増			10	区画	17	区画	19	区画		
福知山公立大学への入学者数			-	人	200	人	211	人		
合計特殊出生率			1.96	%	2.02	%	-	%		
自主防災組織の組織率			71.25	%	95.00	%	87.40	%		
No.	事業名	事業内容等	事業成果	担当課	補助対象事業費(円)	企業版ふるさと納税寄付額(円)	担当課による評価	有識者会議委員による評価等		
								主な意見		地方創生の効果 あり なし
4	竜王戦福知山城対局事業	将棋界最高位のタイトル戦「竜王戦」を通してまちのシンボルである福知山城などの地域資源と「まちづくりへの挑戦心＝光秀マインド」を全国発信し、大河ドラマ効果を持続させて関係人口・交流人口の拡大とシビックプライドの醸成を図り、地域活性化につなげていく事業	プレスリリース数(≒企画数)が、前回(H30)14件に対し、今回27件。市内団体の活躍やオンラインの活用で、約2倍の企画数となった。 対局中継の視聴者数は、前は土日で174万人に対し、今回は平日で402万人。2.3倍となり、福知山市や城の認知につながった。 「竜王戦勝負グルメ」として市内のごはん・スイーツ・ドリンクをブランド化。行列ができ、完売、売上増につながった。	市長公室 秘書広報課	15,244,000	6,000,000	A:非常に効果があった	・市としての情報発信に寄与し、市民の盛り上がりを感じとれた。 ・将棋の海外対局も今年6月、ベトナムで開催された(藤井六冠)。今後、国際交流試合を福知山城で開催できれば楽しい。	5	0